



## 抗議文

駐日アメリカ合衆国大使館特命全権大使  
ウィリアム・F・ハガティ 殿

貴国が、ネバダ州の実験場において、昨年12月、臨界前核実験を実施したとの報道に接しました。

核兵器禁止条約が国連で採択されるなど、核兵器のない世界の実現は、国際社会における人類共通の願いです。貴国が北朝鮮に非核化を迫る一方、自らは核実験などを通じて核兵器の増強を進めようとしていることは、この願いに逆行することであり、非核平和宣言都市として容認することはできません。

私は吹田市民を代表して、今回の臨界前核実験に対して、強く抗議するとともに、21世紀を核兵器のない真の恒久平和の世紀にするためにも、今後一切の実験を中止するよう強く求めます。

最後に、この抗議文を本国へ伝達いただくよう要請いたします。

2018年10月11日

平和首長会議加盟都市

日本非核宣言自治体協議会会員

大阪府吹田市長 後藤 圭 二

